

会報

こぶし

発行 花北地区
コミュニティ協議会
編集 総務企画部会



身近な散歩での発見

花北地区「コミュニティ協議会 会長 高橋 修

令和3年4月の総会において、引き続き会長を務めさせて頂くことになりました。これからもよろしくお願いいたします。

10年前の大震災の辛い記憶がまだ残っている中、今度は目に見えないウイルスに脅かされ、コミュニティ協議会の活動も中止や延期を余儀なくされるときともに、会館利用につきましても様々な制限で皆様には多大なご迷惑をおかけしております。「不要不急な外出は控えましょう」は都会の人混みのなかの話であり、自然豊かな我が花巻では密にならなければ、大いに自然に出るべきだと思っております。

いつも樹木の話で恐縮ですが、普段見ているはずが、関心を持って見ないと記憶に残りません。いくら見てほしいと注意書きやポスターを張っても、無駄になることが多いのも同じだと改めて感じます。

一つ目の樹木は「クヌギ※(1)」です。クヌギの植生は岩手県と秋田県が北限

で南に多い木です。花北地区の人であれば、ほとんど近くを通って見ているはずですが、言われて初めて気がつくと思います。今は道路が新しくなったために少し遠くなりましたが、桜台小学校に登る坂道の旧道脇に大きくそびえ立っている木です。他の場所を調べてみると、桜台小学校の体育館の東側や鳥海神社のフジヅルが絡まっている木、浅沢の県道の坂の途中などにも同じくらいの大きさの木や、他にも花巻神社の境内や桜台小学校の西側の土手にも少し小さなものが生育しています。二つ目の樹木は、「ブナ※(2)」の木です。これは、誰かが植えたものだと思いますが、桜台小学校の校庭の西端に一本立っていて、土の栄養分はあまりないなか、西側の土手が西風から木を守り真直ぐに育っています。どんな木や草花でも花や実をつけます。同じ所にもいつもある木や草花の変化、季節によって渡ってくる鳥なども調べてみるといろいろなる発見があります。



※(1) クヌギ



※(2) ブナ

家から出てきれいな花を見たり、美しい鳥の鳴き声を聞いたりしながら散歩してみませんか？。花北地区には、いっぱい発見の出来る環境が残っています。新型コロナウイルス感染症の拡大が早く終息し普通の活動が出来ることをご祈念申し上げます。

新役員紹介

◆活力ある住みよい地域づくりに向けて

地域づくりに向けて

総務企画部会 部会長 駿河雅春



今年度から花北地区コミュニティ協議会は初めて小舟渡行政区の駿河雅春と申します。総務企画部会長の担当することになりました。コミュニケーション協議会は初めての経験であり、至らないところがあると思いますが、よろしくお願い致します。

さて、5月18日に第1回総務企画部会を開催し、はじめに役員を選出を行い、副部会長、書記が選出され部会体制が整いました。総務企画部会もそれぞれの専門部会と同じく、11行政区の運営委員各1名と部会長の12名で組織されています。

その後、令和3年度の総務企画部会の事業について協議し、予定どおり、会報「こぶし」30号、31号、32号を年3回発行。部員全員が編集委員となり、それぞれの発行号数ごとに編集長を選任して、役割分担のうえ編集発行に当たることを確認しました。

研修バス旅行は、10月下旬に宮城県石巻市、仙台市方面を計画し、花北地区文化祭の応援等、その他の事業計画内容を確認しました。

まずは、7月15日発行予定の会報30号の原稿執筆依頼、編集等、発行準備作業に取りかかることとしております。

研修バス旅行など、今後の予定事業につきましては、新型コロナウイルス感染が県内でも増加しているコロナ禍にありまして、いろいろな予定事業が制限を受けているなか、延長、中止などとならないよう願っています。また、今後、協議検討していくこととなることを考えています。

活力ある住みよい地域づくりに向けて、地域情報、地域課題など役立つ情報を皆さまより提供いただき会報に掲載したいと考えていますので、よろしくご協力をお願いいたします。

◆地域安全部会の活動について

地域安全部会 部会長 松田修一



向夏の候、木々の深みも増し夏めいて参りましたが如何お過ごしでしょうか。地区の皆様には当部会に対していつもご協力を